

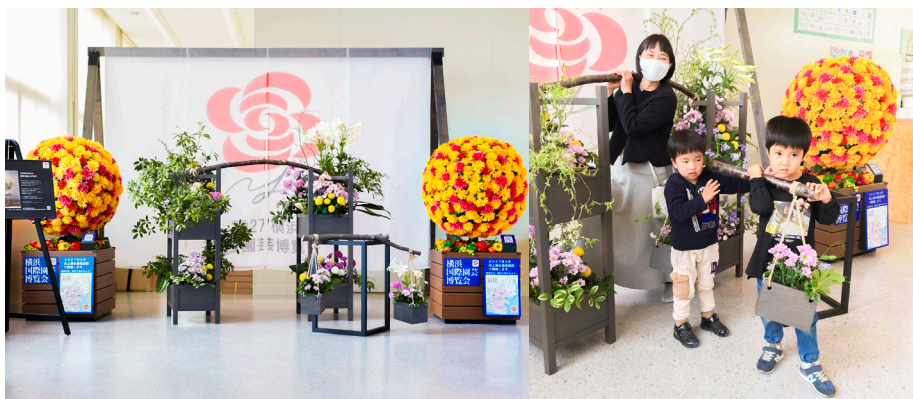
2027国際園芸博覧会ニュース

2027年横浜で開催される国際園芸博覧会に関する最新トピックをお知らせいたします。

1. 広報・機運醸成の取組を紹介します。

1 ガーデンネックレス横浜2021との連携

横浜市では、2017年の「全国都市緑化よこはまフェア」開催以来、花と緑あふれる都市「ガーデンシティ横浜」を推進するリーディングプロジェクトとして「ガーデンネックレス横浜」を毎年開催し、今年で5年目を迎えます。今年は3月27日から6月13日まで、都心臨海部の「みなとエリア」とよこはま動物園ズーラシアに隣接する自然豊かな「里山ガーデン」をメイン会場に、全市で花と緑に親しむ機運を高め、2027年の国際園芸博覧会の開催に向けた機運の醸成を図っています。メイン会場で、フォトスポットやパネル等を設置するとともに、スタンプラリー企画、スプリングフェア、ローズフェアなど、各イベントでも連携してPRを行いました。



みなとエリアのフォトスポット



里山ガーデンのフォトスポット



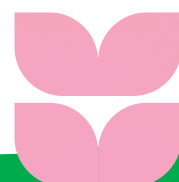
里山ガーデンの様子



みなとエリアの様子



ローズフェアの様子



2 横浜市庁舎公共スペースを活用したPR

5月12日から16日まで、横浜市庁舎1階アトリウムで「ローズフェアwith趣味の園芸」が開催されました。同時に、2階プレゼンテーションスペースで、国際園芸博覧会PRコーナーを特設し、パネル等の展示、フォトスポットの設置、PR映像・有識者インタビューを放映し、約3,000袋の花の種を配布しました。

また、1階アトリウムの大型ビジョンでは、10月31日まで国際園芸博覧会のPR映像を放映しています。映像は横浜市のYouTubeチャンネルでもご覧いただけます。

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=nRVT7CpWpAI>



プレゼンテーションスペースの展示



ローズフェアの様子

3 みんなで咲かせる手形アート作品を展示

2月に市立上川井小学校(横浜市旭区)・市立上瀬谷小学校(横浜市瀬谷区)の全学年児童560名と制作した手形のアートを3月から5月まで相鉄本線瀬谷駅南口の建設現場仮囲いに展示しました。今後も、地域の皆様にとって国際園芸博覧会の開催が楽しみになるような取組を続けていきます。



制作の様子



建設現場仮囲いでの展示

4 PR協力者を募集しています!

当委員会では、全国的な広報PR・機運醸成等の取り組みを進めています。「2027横浜 国際園芸博覧会推進ロゴマーク」を活用して国際園芸博覧会と一緒に盛り上げていただく協力者(企業・団体等)を募集しています。PRしていただいた内容は、ウェブサイトや印刷物等でご紹介します。ぜひ2027年の国際園芸博覧会のPRにご協力をお願いします。

詳しい募集内容・手続きについては、下のURLより横浜市ホームページをご参照ください。

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/logopr.html>



2027横浜
国際園芸博覧会

農林水産省及び国土交通省において、パブリックコメントを経て「横浜国際園芸博覧会具体化検討会」報告書が取りまとめられました。
「横浜国際園芸博覧会具体化検討会」の内容や、意見募集の結果については下のURLをご参照ください。

URL (農林水産省HP) : https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/f_yokohama/yokohamahaku.html

URL (国土交通省HP) : https://www.mlit.go.jp/toshi/park/toshi_parkgreen_tk_000089.html

テーマ

幸せを創る明日の風景 Scenery of The Future for Happiness

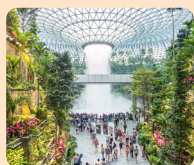
幸せを感じる花、幸せを導く緑、幸せを運ぶ農(みのり)、それを支えるコミュニティと水と大地

会場内に様々な風景(Scene)を展開

- ◆花・緑・農などをシンボルとして持続可能な循環型社会に向けた日本モデルを提示
- ◆レガシーとして、博覧会で実装されるグリーンインフラ等とともに次世代へ継承

展示・行催事計画

- ◆テーマへの訴求力の高い展示、国際色豊かな庭園、魅力的な植物など、多様性に富んだ展示
- ◆花き・園芸を中心とした産業の発展や、国際的なつながりの醸成を図る行催事



※画像はイメージです。

会場配置(イメージ)

花や緑、自然と人とのつながりがもたらす
様々な幸せにあふれた
未来の風景を表現



2. 開催に向けた取り組みも進んでいます。

1 国際園芸家協会(AIPH)博覧会委員会での進捗報告

横浜市は、2019年9月に国際園芸家協会(AIPH)から開催承認を受けたのち、半年に1度開催されるAIPH博覧会委員会で進捗報告を行っています。

3月16日にオンラインで開催されたAIPH博覧会委員会では、前回(2020年9月)からの進捗として、「2027国際園芸博覧会推進委員会」の設立、推進ロゴマークを活用したPR活動、基本計画案の検討状況等について報告を行いました。

詳しくは、下のURLより横浜市記者発表をご参照ください。

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/top.files/20210317-2.pdf>



2 環境影響評価(環境アセスメント)の手続きに着手

横浜市環境影響評価条例に基づき、環境影響評価の計画段階配慮書の縦覧(4月5日～19日)を行いました。

環境アセスメントについては下のURLより横浜市ホームページをご参照ください。

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kankyohozen/hozentorikumi/assessment/asesu.html>

3 事業計画の深度化

展示・業催事計画、輸送アクセス、植栽計画等、博覧会計画の深度化を進めています。

進捗状況は、今後の園芸博ニュース等でお知らせします。

4 今後のスケジュール

2021年度秋以降

「2027国際園芸博覧会協会(仮称)」の設立

2022年度～

博覧会国際事務局(BIE)への認定申請、基本計画の策定、設計、工事等

2027年3～9月

国際園芸博覧会開催

国際園芸博覧会とは

国際園芸博覧会は、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的に開催されています。

A1(最高クラス)の国際園芸博覧会は、国際園芸家協会(AIPH)の承認及び博覧会国際事務局(BIE)の認定を受けて開催される国際的な博覧会です。日本では1990年に「国際花と緑の博覧会(花の万博)」が、アジアで初めてのA1の国際園芸博覧会として大阪で開催されました。横浜市もA1の国際園芸博覧会を開催します。

開催期間 2027年3月～9月

開催場所 旧上瀬谷通信施設
(横浜市旭区・瀬谷区)

Q 横浜 国際園芸博覧会



2027国際園芸博覧会ニュースについて

2027国際園芸博覧会ニュースは、国際園芸博覧会の広報PR・機運醸成のため、2027国際園芸博覧会推進委員会が発行する季刊誌です。国際園芸博覧会に関するトピックを定期的にお伝えし、2027年の開催に向けて盛り上げていきます。

URL: <https://expo2027yokohama.jp/>

